

■日本大学工科系校友会山形県の始まり■

日本大学工科系校友会山形県支部は、終戦後数名の気のあった者同士がそれぞれ校友意識を盛り上げ、酒宴を開いていたようです。

昭和31年、当時秦・伊藤建築設計事務所所長「伊藤高」氏、県立山形工業高校建築科科长「伊藤健」氏、同教諭「高橋三郎」氏、升川建設(株)社長「升川剛男」氏、東北電力(株)山形支社土木課長「杉江政直」氏、それに宮城県より転勤してきた「新関喜七郎」氏により『日本大学工科校友会山形県支部』が発足致しました。

初代支部長を「伊藤高」氏、幹事長を「新関喜七郎」氏とし、発足時の会員数は50名程度とお聞きしました。当時は大学クラブ合宿の後援、懇親会や名簿発行等を行い、会員の増強に努め、その後東北各県工科校友会・県内オール校友会との連携交流を深め、また日本大学山形高等学校への「記念講演会」等の活動をおこなってきました。

現在は工科系学部（旧薬学科含め）の卒業生にて構成し、会員数1,828名（名簿にての把握）で活動を継続しております。

■歴代支部長■

初代支部長	伊藤 高	昭和31年	～	昭和51年	20年間
二代支部長	伊藤 健	昭和51年	～	平成 4年	16年間
三代支部長	升川剛男	平成 4年	～	平成11年	7年間
四代支部長	小林高明	平成11年	～	平成22年	11年間
五代支部長	長瀬健一	平成22年	～	平成28年	6年間
六代支部長	船橋征吾	平成28年	～		

■記念講演会を頂いた先生方■

平成 9年	理工学部	小島勝衛	学部長	
平成10年	生産工学部	大谷利勝	学部長	「日本の教育」
平成11年	理工学部	伊藤彰義	教授	「光磁気記録」
平成12年	理工学部	高宮真介	教授	「風景としての建築」
平成14年	理工学部	安部建一	専任講師	「鳥になりたかった男たち」
平成15年	理工学部	川西 肇	教授	「宇宙から地球を探る」
平成16年	理工学部	安部建一	専任講師	「日本記録にかける青春」
平成17年	理工学部	川幡長勝	教授	「ロボットを作る楽しみ使う楽しみ」
平成18年	理工学部	越智光昭	学部長	「大学入学前に勉強しておくべきこと」
平成19年		伊藤庄助	先輩	「富士山頂気象観測用レーダー建設」
平成24年	理工学部	青木義男	教授	「宇宙エレベーター人類最大の建造物を創る理由(わけ)」
平成27年	理工学部	青木義男	学部次長	「大学生と創る世界初の宇宙エレベーター」